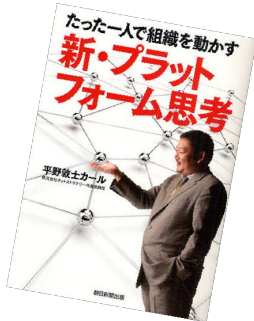


～プロフィール～



平野敦士カール(ヒラノアツシカール)

米国イリノイ州生まれ。経済評論家、経営コンサルタント、沖縄大学院非常勤講師。日本興業銀行からNTTドコモ勤務を経て現在、株式会社ネットストラテジー代表取締役社長であり、ハーバードビジネススクール招待講師も務める。NTTドコモ時代、おサイフケータイのクレジット発案者として世界的に有名であり、「ミスターおサイフケータイ」の異名も持つ。新プラットフォーム思考の提唱者でもある。



『たった一人で組織を動かす 新・プラットフォーム思考』

(朝日新聞出版 2009年12月発刊)

ベストセラー!

■新プラットフォーム思考とは

たった一人で、顧客、他者の社員や自社の上司、部下など、周囲の多くの人を巻き込み、自分が持てる力の何十倍もの成果を上げつつ、まわりの人間もシアワセにしていく。そんな“頑張らなくても”結果を出すための思考法。この思考法について、中国でIT関係者5,000人の前で講演をした経験も持つ。

【テレビ】

BS11「ベストセラーBook TV」ゲスト出演

【ラジオ】

J-WAVE「Make It 21」ゲスト出演

J-WAVE「Platon」ゲスト出演

NHK第一「私の仕事術」ゲスト出演

【講演】

「経営戦略～成功する新規事業の秘訣」

「マーケティング～ケータイを作ったWeb2.0的最先端マーケティング」

「成功するベンチャー 失敗するベンチャー」

「ケータイ進化論～モバイルインターネットの未来」

「成功するアライアンス戦略～提携～M&Aまで」

「これからの時代を生き抜くための新・プラットフォーム思考/自分成長戦略」

(前・後編)

「まわりを味方につける「自分成長戦略」(千葉智之氏×平野敦士)

【雑誌】

「日経ビジネスアソシエ」

「週刊ダイヤモンド」

「アエラ」



Qualia Management

～著書～



プラットフォーム戦略（アンドレイ・ハギウ氏との共著）

（東洋経済新報社 2010年7月発売）

本書はビジネス・ブレイクスルー大学院の人気講座「プラットフォーム戦略」をもとに、社団法人プラットフォーム戦略協会理事長で、おサイフケータイ普及成功の立役者として世界的に著名な平野敦士カール氏と、プラットフォーム戦略の世界的権威でもあり、競争戦略論の大家、マイケル・E・ポーター氏の再来とも言われ、史上最年少でハーバード・ビジネス・スクールの准教授になったアンドレイ・ハギウ博士が、「プラットフォーム戦略」の理論と実践のすべてを日本の読者のために書き下ろしました。



半径3mからはじめる収入・キャリア10倍アップの

アライアンス「自分成長」戦略

（日本実業出版社 2009年4月9日発売）

「おサイフケータイ」プロジェクトを成功させた著者が、会社の枠を超えて自分を成長させるキャリア戦略を、不況でも引っ張りだこになった自らの経験をもとに紹介。1人でがむしゃらにのしあがっていくような従来の目標逆算型の戦略とは異なり、「1人では不可能なことも、人を巻き込み、まわりの力を活用ながら、出会ったすべてを最大に活用する」戦略です。



がんばらないで成果を出す37の法則

アライアンス人間関係術

（ビジネス社 2009年3月26日発売）

なぜあの人はいつも「デキル」と評価されるのか？大失業時代にリストラされないのは、資格や学歴がある人より、助けてもらえる人。『アライアンス仕事術』の著者が語る、東大でもハーバードでも教えない逆説的成功論。



1の力を10倍にするアライアンス仕事術

（ゴマブックス 2008年6月発売）

「ミスターおサイフケータイ」の異名をとる著者が、「モード」の立ち上から、「おサイフケータイ」の開発・普及、そしてヒットを実現した経験をもとに、ヒト・モノ・会社を組み合わせることによって、何倍もの利益や価値を生み出した仕事術を紹介。アライアンスの本来の「提携」という意味から派生し、社内、社外の人間、情報やノウハウなどさまざまな周りの力を組み合わせることによって、「WIN-WIN」の関係を実現するだけでなく、1+1が3にも4にも、10にも、100にもなる！！「人を出し抜く」よりも、「人から助けてもらえる」人になろう。自分をプラットフォーム化することで、かかわるすべての人を味方にして、仕事と人生の価値を何倍にも高める生き方。